

令和5年度 石狩支部北地区6校PTA合同研修会を開催

【4年ぶりに外部会場で通常開催】

令和5年11月24日（金）16時30分から、札幌サンプラザホテルを会場に、令和元年の開催以来4年ぶりとなる、制限なしの交流会もかねた「北地区6校PTA合同研修会」を開催することができました。

内容は映画「みんなの学校」を鑑賞し、「生徒を主体にした学び」、「全ての子どもたちがともに学ぶインクルーシブ教育」について、先進的な実践により大きな成果をあげた大阪府立大空小学校の実践を学びました。

冒頭に、初代大空校長の木村泰子様からメッセージをいただきました。「いろいろな困り感をもった生徒が大空に来ましたが、誰一人学校にいけないなという子どもはいなかった」（主旨）とお話しをされていました。

上映会終了後の交流会では、各校からのPTAの取組が紹介され、今後のPTA活動の充実に向けて資する内容となったとともに、来年度以降も継続していくことが確認されました。

不登校の児童生徒数が過去最高となる中、各校の教育現場における当たりまえの教育活動が、生徒や保護者、地域の方々にとって果たしてどう映っているだろうか。さまざまなことを問い直し、学び直すきっかけとなったのではないかと感じています。



木村泰子先生からビデオメッセージをいただきました。



4年ぶりにホテルで開催した交流会の様です。

【参加者の声から】

- 1 みんなの学校のリアルな取組を拝見して、多くのことを考える機会となりました。不登校になってしまう児童生徒の生き辛さを見逃すことなく、周りの人々も変えていく指導法はとても、興味深く、大切なことなのだと思えました。
- 2 改めて「自分がされて嫌なことはしない、言わない」は大事な事だと思いました。隣人関係が希薄な中、地域共創も大事だと思います。大空小学校を卒業した子ども達が、今のような暮らしをしているのかが気になりました。

当番校 北海道当別高等学校PTA事務局